

会社名 大阪製鐵株式会社
 (URL <http://www.osaka-seitetsu.co.jp>)
 代表者名 代表取締役社長 永広和夫
 (コード番号5449 東証・大証一部)
 問合せ先 経理部長 久埜誠一
 (TEL. 06-6552-1442)

平成21年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	78,000	3,900	4,000	2,300	54.66
今回発表予想(B)	85,000	3,400	3,500	2,200	52.29
増減額(B-A)	7,000	△500	△500	△100	—
増減率(%)	9.0	△12.8	△12.5	△4.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	56,892	5,912	6,064	3,512	83.47

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	167,000	10,800	11,000	6,300	149.73
今回発表予想(B)	200,000	10,000	10,200	5,800	137.85
増減額(B-A)	33,000	△800	△800	△500	—
増減率(%)	19.8	△7.4	△7.3	△7.9	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	124,129	12,026	12,161	7,028	167.04

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	64,000	3,650	3,800	2,250	53.47
今回発表予想(B)	71,800	4,170	4,300	2,550	60.60
増減額(B-A)	7,800	520	500	300	—
増減率(%)	12.2	14.2	13.2	13.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	46,217	4,879	5,083	3,087	73.37

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	141,000	10,100	10,300	6,100	144.97
今回発表予想(B)	170,400	10,000	10,200	6,100	144.98
増減額(B-A)	29,400	△100	△100	—	—
増減率(%)	20.9	△1.0	△1.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	101,651	9,931	10,027	5,987	142.30

修正の理由

第2四半期以降におきましても、引き続き需要見合いの生産・販売に徹し、需要家の皆様にご理解を頂きながら、原料価格の高騰に対応して適時・適正な販売価格の改善継続を図って参ります。また、実態経済の成長が見込まれる海外マーケットに確実に対処していくことと致します。

これらにより、平成21年3月期通期連結業績予想につきましては、連結売上高2千億円と、4月公表の業績見通しに対し増収となる見込みであります。収益につきましては、連結経常利益102億円、連結当期純利益58億円と、4月公表の業績見通しとほぼ同レベルの収益確保を目指して参ります。

なお、主原料である鉄スクラップ、副原料である合金鉄等の価格高騰による更なるコスト圧迫、国内建材分野における更なる需要減退、及び海外マーケット環境の変化等も憂慮され、収益の下振れ懸念もあることから、マーケットの変化を注視し、適切かつ機動的なマネジメントの実行に徹して参ります。

以上